



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2025 vol. 1

## E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

### 『E.R.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました

去る 11 月 9 日、「E.R.F.C.清里ミーティング」は、多くの参加者をお迎えして無事開催することができました。ご報告のプレスをお送りします。

清里ミーティングにご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



今回の清里ミーティング当日は曇天だった昨年のリベンジを願ったものの、残念ながらの雨模様。次回に向けて徳を積むように言っておきます。(誰に?)

さて、今回はゲストにマツダから清里に限らず各種ロードスター関連イベントに参加の方にはおなじみの商品開発本部ロードスターヘリテージマネージャーの山口宗則さん。そしてもう一人、マツダOBとしてNA開発当時を知る元 操安性能開発部の笠原哲さんをお迎えしました。

最近、各種イベントに引っ張りだこの山口さん。昨年の清里以降イベントごとにお話の内容を変えていただけているとかで、今回は「これまであまり話をしていないNDの話」として、先行開発から量産

化、そして現在に至るまでのいろんな経験や苦労を貴重な資料とともにお話しいただきました。確か清里の次のイベントで7回目になるそうなのですが、通しで聞けた人は・・・いないでしょうね。まとめて書籍化しませんか？山口さん(^\_^)



続く笠原さんは当時入社数年目の若手ながらNAの開発に自主的に加わっていた、通称リバーサイドホテルを知る生き証人(おい)であり、以前一度NAの復刻タイヤSF325の復元についてサブゲストとして登壇いただきました。が、その後も実は広島クラブJ58Gのメンバーとして毎年のように清里に来ていただいています。今回はNAが世間に出る前、その開発の経緯を笠原さん秘蔵の貴重な写真や説明資料とともにご紹介いただきました。一台の車を作る際の評価の仕方

であるとか、NAの挙動としてよく語られる「ヒラリ感(ヒラヒラ・クラクラ?)」の秘密というか真実であるとか、試作車の海外での路上テストの様子とか、さらにはマツダ内での人車一体の継承とか……。ネタはまだまだあるそうなので、機会があれば(その気になっていただければ?)是非またご登壇いただきたいところです。(▽▽)

お昼は今年も小淵沢のお弁当屋さん丸政さんによる恒例の清里弁当を用意してもらったのですが、外はあいにくの雨模様ということでほとんどの人がテーブルも無いホール内での食事となってしまいました。天候への根回しが効かず(?)申し訳ありませんでした。

結局、駐車場でのまったりタイムとしていた午後は多くの方がホール内で閉会時間を待つことになってしまいましたが、その代わりにと言ってはなんですが、ホールの隅に設けたRCOJとRoadster BROS.そしてERFCの物販ブースとスワップミートのコーナーでじっくりと吟味いただいた方も多かったようです。中でもERFCブースで販売した昨年の記念品Tシャツですが、落ち着いたところに色違いを買っておこうと思っていたら、なんと全品完売となっていました。(在庫がはけてありがたいけど、個人的にちょっと残念w)スワップミートのコーナーも掘り出し物と言うか、デッドストック級のプラモやラジコンなどの大物(お宝?)が破格で並んでいました。各ブースでお買い上げくださった皆さん、ありがとうございました。

そしてようやく迎えた閉会の時間。ただホールでお待ちいただいた皆さんにはちょっと申し訳なかったということで、RCOJの水落さんとBROS.のブンコさんからそれぞれ協賛品をいただいたものですからERFCからもささやかな品を用意して、不肖実行委員長を相手にじゃんけんを・・・と以下の顛末はのちほど(笑)

皆さんが岐路につく頃には少し小降りにもなっていたとはいえ、雨の中を無事にご帰宅いただけましたよね？

ゲストや協賛いただいた皆さん、参加者の皆さんやスタッフを含めてご協力いただいたすべての皆さんに感謝です。本当にありがとうございました。



(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 豆蔵)



続いては、毎度のスタッフからのイベント報告のひとつとふたこと。

---

## 「雨の清里」



今回は残念ながら、雨のミーティングとなってしまいました。私は今回も駐車場の設営と弁当の掛け紙製作を担当しました。まずは駐車場設営について。駐車場のレイアウトを決めるにあたっては、クルマを止める牧草地が緩やかな傾斜地である事、クルマの停めやすさ&出やすさ、クルマへの光（太陽光）の当たり具合、写真映え等を考慮した上で、あのようなレイアウトになっています。ただ今回は雨だったので、ほとんど意味が無かったみたいですが…（残念）。そしてお弁当の掛け紙について。今回も私が描かせていただきました。今回のモチーフは、歴代ロードスターの中で唯一、トミカの製品化がされなかったNBです（苦笑）。なお、お弁当の中身については、妻がお弁当屋さんと打ち合わせをして決めています。皆さんのお口に合いましたでしょうか。そして本来であれば昼食後は駐車場である牧草地に降りて、

参加者同士クルマ談義に花を咲かせるところですが、今回は雨のため、それは叶いませんでした。

スタッフのひとりとしては、本当に残念でなりません。前日の土曜日とミーティング翌日の月曜日の天気良かっただけに、なおさらその思いが強くなります。

天候についてはどうしようもないと思いつつも、参加された皆様がどう思われたか、気になっていまずところです。次回はぜひとも天候に恵まれて、参加者の皆様が牧草地に並ぶロードスターを囲んで、語り合っていたきたいと切に願っています。

参加された皆様、ありがとうございました。また来年も清里でお会いできることを楽しみにしています。

（マエダ）

---

## 「清里駅での どうってことない ひととき」

ミーティング前日の夕方、ゲストの山口さんが清里駅に到着する時間に合わせて、アポなしでお迎えに。

清泉寮からポールラッシュ通りを左右の紅葉をちらりと見ながら下って行きます。

踏切を渡り、左折して、駅に到達。清泉寮からは5分ほど。駅構内の無料駐車場に車を停めます。練馬ナンバーのソウルレッドのNDロードスターが停まっていました。

まさか、これ、山口さんが手配しているんじゃないのか？と思いました、一旦無視。

駅舎の手前には蒸気機関車 C56 が置いてあります。結構な迫力です。

昨年から無人駅になりましたが、待合室は広くて2室もあり、たくさん椅子があるのですがほぼ満席です。そんなに利用者がいるのか疑問に思うほどです。

ほどなく到着予定時間になりましたが列車が来ません。どこにも表示板などがないし、アナウンスもないので不安になります。

慌てる人は一人もいません。この人たちは単に休憩のために座っているのかな？いや、きっと遅れているんだろと、数分待つと、踏切の警告音がして、やっと来ました。

しかし、今度は下車したはずの人がなかなか改札に来ない。あれ～！予定変更されたのかな？と焦ります。

待合室の外に出て、線路側を見ると、ホームの端から線路を横断するため、時間がかかっている様子。

ほっとして、改札口に戻り、やっと1年ぶりのご対面となりました。



(ゲスト交渉担当 片貝)

---

ご参加頂いた皆様ありがとうございました。昨年と同様に申し込み受付のあれこれと、当日の駐車場の入退場の誘導を担当していたわだです。

今回は本格的な雨模様の寒い一日となってしまう、体調を崩されたりしませんでしたでしょうか？私はしっかり風邪を引いて2日程寝込みました。

さて、スタッフは前日の土曜の午後に清里入りします。

中央道方面からだと須玉 IC か長坂 IC あたりで降りて清泉寮目指して登っていくわけですが、その道すがら「なんかお店増えてない？」…と。

少し前まではごく少数の飲食店がある位だったのが、ベーカリーを中心に新規オープンのお店が目立つようになってきました。

清里入りする前のランチはついつい通り慣れた店に足が向いてしまうのですが、今回は少し調査して新しいお店に挑戦してみましようかね…。

(わだ)

---

「ここ“数年”、当イベントはこの時期に開催されるにしては、天候に恵まれ穏やかだったのに、今年は。。。」という声が内外から聞こえるたびに一人口を閉じ身を固くしておりました。

「“数年” ぶりにお手伝いに復帰した」和田です。はい、自分で言うのものはばかられますが、かなり実績のある雨女です。

屋根が開くお車のイベントなので、影響の範囲に十分な配慮が必要なのに。今回は、自分の能力を上手にコントロールできるように、事前に十分滝行にいそしんで備えます。

(わだひろこ)

---

## 「ちょっと嬉しいこと。」

駐車場担当の長谷川です。

いつも皆さんの車を奇麗に並べ、駐車後も安全快適（ドア開けても余裕があるように）になるよう、気をつけて駐車誘導をさせて頂いています。

今回のように雨（誘導してる最中は小止みでしたが）の牧草地は超スリッピーで、目印にしているスズランテープにピタリと誘導するだけですが、いつもの倍は緊張してる感じでした。

続々と入場してくるロードスター達を待たせることなく、次々に停めているなか、自分と同じ袖ヶ浦ナンバーのNDにふと目が行き、どこから来たのかなあって考えていたところにオーナー様から「長谷川さんですか？」と声を掛けられびっくり、自分がお世話になっている千葉マツダ茂原店で同じ担当者のお客さんと聞いて更にびっくりでした。

そういえば茂原店で担当者と清里ミーティングも良いですよ〜と、スタッフもしてるんで機会があったら他のお客さんにも話してみても下さいな、ってようなことを話したことを思い出しました。

誘導しながらだったのでそんなにお話する時間はありませんでしたが、その後のホールでのミーティングも楽しまれたようで、何気なく話したことが繋がって、ちょっと嬉しかったです。

ミーティング最中は本降りの雨模様で、少し残念でしたが、今回は良い天気の中またお会い出来ますように。

（なみちゃん）

---

ひさしぶりにしっかり雨降りの清里ミーティングでしたが、みなさま、無事に帰宅されましたでしょうか。

愛車にかわいいてるてる坊主をたくさんつけて参加して下さった方がいらして、お見送りの時にすごい！かわいい！とひとりで盛り上がってしまいました。写真を撮影させてもらえばよかったと後から気付く、無念…。てるてる坊主といえば、毎年大きなてるてる坊主を作ってきたちびっこスタッフも今や社会人。時間の経つのが早すぎて恐ろしいです。

（しのぶ）

---

皆様、お疲れさまでした。ホール前でご案内させていただきましたカナコです。

久しぶりに寒くて（ホント寒くて）雨のミーティングでしたね。

そんな天候でも駐車場からホールまで登っていらして“こんにちは！”“お久しぶり！”“よろしく！”なんて笑顔で声をかけていただくと、清里始まったな〜とワクワクしちゃいます。

雨ならではのホールでの記念撮影、予期せぬ（！？）じゃんけん大会と楽しんでいただけているかなと思いつつ今年初めて駐車場でお見送りをさせていただきました。

さすがに100台となると色とりどり！一台一台にオーナー様の愛がにじみ出ているロードスターに手を振っているとこのミーティングの楽しさは皆様のおかげです！と感謝の気持ちでいっぱいになりました。



（カナコ）

---

沖縄から時々参加しています荒川です。

今年は牧草地に入る前の場所で、参加ハガキを確認しておりました。

(あいにくの雨の中、ご協力頂いた皆さんありがとうございました)

私が初めて清里ミーティングに参加したのは第 20 回、2009 年のことでした。

(往復 10 万円以上かかることもあり…) 沖縄から NA ロードスターは持ってこれず、飛行機と特急あずさ、小海線を乗り継いで来ています。

台風で飛行機が飛ばなかったり、家族の行事で不参加もありで、毎年は来れないのが、スタッフとして申し訳ないところですが…。

「ねえ、何が楽しくて車もなしに沖縄から来るの？」

と角山さんから、よく言われていましたが、そういえば最近はあまり言われなくなりました。

これまでしっかりとお答えしたことは無かったので、何故だろうと改めて考えてみますと…、

牧草地に並んだ沢山のロードスターを眺めたり、ホールにぎゅうぎゅうになって、ロードスターに関わる濃厚なお話を聴いたり…、が最初の頃は嬉しかったのです。

それは今でも嬉しく、ここに来る動機の一つになっていますが、ここ最近は他のスタッフの皆さんと準備から撤収まで、一緒に時を過ごすのが何よりの目的になっているような気がします。

イベントが終わりお帰りになる参加者の皆さんを、「ありがとうございました」とお声かけしながら、お見送りをしている時間も心地よく、スタッフをしていて良かったな、と思う瞬間でもあります。

こんな私ですが、今年は 10 回目の清里ミーティングになりました。

子どもたちの学費が落ち着いてくれる頃には、沖縄から青緑色の NA を連れてきたいな、と思っています。

(あらかわ)

---

## 「裏切りの清里 2025」

今年も受付を担当したつの@にしです。

思えば、不穏な気配は前日から始まっていました。

毎年ミーティングの準備でお世話になっている清泉寮のキャビン、その入り口でつるつと滑ってスッテーンと転んだのです(幸いアザ一つなし)。長年こちらに通っておりますが、初めてのことでした。

一夜明けてミーティング当日、霧雨だった天候はお昼前には本降りに・・・草の上に綺麗に並んだロードスターたちも心なしかうなだれて見えました。ここ数年、ギリギリであってもお天気は味方をしてくれていたんですが。

けれど朝の受付では嬉しいサプライズ！厳正な抽選をくぐり抜けた常連の方からお菓子や手作りグッズをいただいたり(もう年イチで会う親戚状態?)ダンボールいっぱい柿がどーんと登場したり。あの柿甘かったわぁ・・・皆様ありがとうございます！

そしてソレはミーティング終了間近にやってきました。

あえて誰とは申しませんが、ワタシは当該人物の相方をつとめておりますので、日ごろから「アレはやりたくない」「二度とやらない」「絶対やらない」と聞かされておりました。それなのに。



ロードスターブロス様から協賛品としていただいたエコバッグ、その分配は豆蔵委員長が・・・と話し始めたところで、ワタシの隣にいた当該人物が満面の笑みで飛び出していくではありませんか。「ちょおっと待ったー！」と叫びながら。

**はあああああああああああああああああ？？？**



あの時、会場内で一番驚いたのは間違いなくワタシです。

でも即座に立ち直ってスマホを構え、高々と右手を掲げる当該人物を撮れたのは自分を褒めたいと思いました。

とはいえ、当該人物はアレで全エネルギーを爆発燃焼させたらしく、ぐったりしながら「ホントに、もう、やんない・・・」と。そりゃまあ、我々だってもうシニアですしねえ。なので参加者の皆様、アレは本当に「たまたま」ですよ？どうか悪しからず。

ちなみに、ミーティング翌日は快晴（よくある話です）。美しい秋の景色に心を慰められて、どうにか帰路についたのです。

（つの@にし）

---

今年も 30 人を超える方にお断りの連絡をさせていただきました。また、諸事情でキャンセルされた方もいらっしやいます。

諸々併せると、40 人位の方が残念ながら清里にお越しいただけなかったことに。これはもう毎年のことながら、何んとも申し訳ない気持ちでございます。

特に抽選でお断りした皆様、ほんとごめんなさい。

ちなみに、その抽選ですが、実に単純明快に実施しておりますよ。毎年委員長の豆蔵氏と事務担当つのやまが、シンプルにくじ引きしているだけでございます。しかも、選んでいるのは落選される方。

そう、つまり、実は、落選された方こそ選ばれし民なので・・・いやいや、ほんとにごめんなさい。来年も開催できる様でしたら、ぜひ懲りずにチャレンジしてくださいな。

なお、「NA じゃないと落選する」とか、「俺は絶対外されているから当選しないんだ」とか、「〇〇地方は断られてるぞ」とかいう声が毎年のように聞こえてきますが、そんなことは一切ございませんことを申し添えさせていただきます。

以上、現場から事務担当つのやま（内密にお願いします・・・）でした。

（つのやま@east）

---

清里ミーティングにご参加のみなさまお疲れさまでした。きっと参加者もスタッフもみんな言ってることと思いますが、今年の清里は雨でしたね。帰りもそこそこ降ってましたけどみなさんご無事に帰ってらっしゃいますでしょうか（雨漏りは程度によらず無事とします）。思い返してみれば入場からロードスターを並べるまでがいちばんマシだったと思えるくらいけっきょく一日ずっと雨でしたね。ホールだけのイベントみたいになっちゃいましたが宗さんは相変わらずの楽しいお話（座学？）で、笠原さんはいままでのゲストの方とはひと味もふた味も違ったお話で、それぞれちゃんと時間通りに終わるのか心配になるくらいノリノリの楽しい時間でした。お二方ともまだまだ話し足りない様子でしたのでまたぜひ続きを伺いたいところです。

ところで帰ってきたから思い出したのですが、雨のせいで色々とペースが狂ってしまいソフトクリーム食べるの忘れました。この 30 数年清里に行っていてソフトクリームをひとつも食べなかった日は初

めてです（前日にはちゃんと食べましたけどね）。そうそう、みなさん知ってますか？冬の真っ白な牧草地を見ながら食べるソフトクリームもなかなかいいもんですよ。最近はやってるかわかりませんが朝9時の気温がマイナス5℃以下だと半額で食べれたような気がします。あともうちょっと北に行った野辺山にあるヤツレンのソフトクリームもミルク感たっぷりでおいしいです。もはや清里ミーティングとはぜんぜん関係ない話ですけど。ではまた。

（ひでまる）

以上、スタッフのあれこれでした。



翌日の風景・・・

### 『編集後記』

改めまして『E.R.F.C. 清里ミーティング 2025』にご参加の皆さん、ありがとうございました。名ばかりの実行委員長、豆蔵です。

昨年も書いたことですが、大事なことになるのでもう一度書きます。今年もやはり私たちスタッフはつぶやいてしまいました。

「この天気、明日にとっておけないかなあ」「昨日がこの天気だったらなあ」

せっかく付近の紅葉がこの日にタイミングを合わせてくれたのに、残念だったなあ、と。

来年の開催が決まっているわけではないですが、次回こそは牧草地でまったりとしたいですね。

ひとまず今年もこの言葉で締めさせていただきます。

「是非また清里でお会いしましょう」

（E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：豆蔵）



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信

2025 vol. 1

2025 年 12 月吉日発行

発行：EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局  
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: https://erfc.sakura.ne.jp